



第75号

●主な記事

令和元年度行事のご案内
支部・同期会・OB会だより
母校近況・寄贈図書

令和元年6月13日発行

一般社団法人 長野高等学校金鷄会

事務局 ☎(026)235-3822

発行人 加藤 久雄

編集人 桃林 聖一

URL

<http://www.kinshi.org>

E-Mail

dousoukai@kinshi.org



ご挨拶

風薫る5月、同窓生の皆様にはまた新たな気持ちで、令和元年の春を迎えられていることとお慶び申し上げます。

さて、今年は母校創立120周年の記念すべき年になります。この間、多くの同窓生の支援により記念事業も準備が整いつつあります。県のエアコン整備事業に合わせて、同窓会・PTAの力を結集し、すべての教室、職員室にエアコンを整備することが可能になりました。また、太陽光発電パネルを新校舎屋上に設置し、その売電益で現役生の進学のための奨学金制度を創設します。これは少なくとも20年間にわたって継続する予定です。また、長野高校はこの5年間にわたってスーパーグローバルハイスクール (SGH) に文科省より指定され、高い評価を受けてきました。今年度より、新たに「地方との協働による教育改革推

同窓会長 加藤久雄 (高13回)

進事業 (グローバル型)」(NGP) として、文部科学省から指定を受けました。これまでのSGHを継承し発展させるものと聞いておりますので、同窓会としても引き続き支援し、今回の記念事業の中にも位置づけました。

記念式典は10月19日 (土) にホクト文化ホールにて挙行いたします。池上彰氏を招いての講演会やあの「シルクロード」の喜多郎氏と吹奏楽班・管弦楽班・合唱班の合同演奏など魅力的な内容で企画されています。大勢の同窓の皆様にご参加いただき、最後には校歌「山また山」を声高らかに歌おうではありませんか。

同窓生の皆様からの募金も多くのご協力をいただいているようですが、残念ながらまだ目標には達していません。金鷄健児の心意気にかけて目標達成できるよう重ねてお願い申し上げます。

創立 120 周年記念式典・祝賀会のご案内

期 日 2019年(令和元年)10月19日(土) 会 場 ホクト文化ホール 大ホール 入場無料

◇記念式典 午後1時30分～2時

◇記念講演 午後2時15分～3時15分

講 師 池上 彰氏

池上さんは、長野県に生まれ、松本で幼少時代を過ごされました。長野高校金鷄祭で講演会をしていただいた他、さまざまなご縁があり、講師を引き受けていただきました。

※出席をご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。
※詳細につきましては10月発行の信濃毎日新聞の広告欄および同窓会ホームページでお知らせいたします。

◇記念演奏 午後3時30分～4時30分

喜多郎氏と本校吹奏楽班・管弦楽班・合唱班

喜多郎さんは現在、長野市戸隠にも居を構えられており、長野においてもさまざまな活動をされ、本校同窓生とも縁が深くご協力いただきました。

◇記念祝賀会 午後6時～

会 場 長野ホテル犀北館

会 費 7,000円



募金のお願い

創立120周年記念事業にあたり目標額4,000万円を掲げて昨年より募金をお願いして参りましたが、現状では3,000万円ほどにとどまっております。現在も各学年幹事さんを通じて活動を展開していただいておりますが、目標額には達しておりません。既と同窓会事務局や各学年にご協力いただいている方が多いと思いますが、重ねてご協力を広く呼びかけるものです。また、普段会費等の納入が無い方にも、この機会に母校に貢献していただけるようお願い申し上げます。

振込先 郵便局／00560-1-49992 一般社団法人長野高等学校金鶏会
八十二銀行／長野北支店 普通 480764 一般社団法人長野高等学校金鶏会

- ・郵便局の振込用紙を同封してあります。ご利用ください。払込手数料は事務局負担にしております。
- ・なお、募金の現況は同窓会ホームページに随時掲載しておりますので、ご覧ください。

長野高等学校創立120周年記念事業募金趣意書

謹啓 時下、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本校および同窓会のためにご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来年度長野高等学校創立120周年を迎えるにあたり、同窓会、学校、PTAの三者協賛による記念事業を計画し、おもに長野高校のエアコン整備ということで了解を得て参りました。募金についても同窓会として総額4,000万円を目標にスタート致しました。

ところが、今年の猛暑の影響もあり県が県立高校のエアコン設置に乗り出してくれることになりました。長野高校については、来年の夏までに着工される予定です。ただ、全ての教室に整備されるわけではなく、ホームルーム教室と管理室・職員室10室にとどまるようです。その他の教室についても将来的には整備されるということですが、時期は明示されておられません。

そこで、実行委員会としましては、次のような記念事業計画修正案を作成いたしました。

- ①今回県が整備できない部分、特別教室(理科室・芸術室・家庭科室等)9室と職員室15室程のエアコンを整備する。
- ②太陽光発電については、エアコンの燃料費捻出という当初の目的を変更し、売電収益を利用して、生徒達のために「同窓会太陽光奨学金」を創設する。
- ③長野高校が取り組んで高い評価を受けているSGH(スーパーグローバルハイスクール)事業が今年度で文科省の指定期間が終了する。学校としてはさらに後継事業を企画しており、これを支援する。

募金目標金額4,000万円は変わりません。このたびの事業にご理解とご賛同を賜り、志のある同窓生各位にご協力を仰ぎ、いっそう有意義な記念事業となりますよう、ここにお願ひ申し上げます。 謹白

平成30年11月吉日

長野県長野高等学校創立120周年記念事業実行委員会
実行委員長 加藤 久雄



長野高校同窓会120周年記念事業 太陽光奨学金創設趣意書

長野高校は2019年、創立120周年を迎えます。これを記念して一般社団法人長野高等学校金鶏会(同窓会)は、現役生徒の皆さんの学習を支援するために、奨学金を設置することになりました。この奨学金は高い志をもって進学を目指す生徒のために、上級学校入学時に一括支給する奨学金で、返還を求めない完全給付型とします。

同窓生よりおくれた原資をもとに長野高校屋上に太陽光パネルを設置します。国の固定価格買い取り制度により、20年間にわたって18円/kW、毎年100万円ほどの売電収入が見込まれます。経費等を差し引いて、その全額を20年間、奨学金として活用する所存です。

2011年3月11日、三陸沖を震源とした大地震とそれに伴う巨大津波に襲われ、およそ2万人にもおよぶ死者・行方不明をだすという東日本大震災に見舞われました。さらに福島県では東京電力福島第一原発が全電源喪失による制御不能に陥り、ついにメルトダウンを引き起こすという大惨事がおきました。この結果、多くの人々が避難を余儀なくされ、今も帰宅困難な地区が存在し、深刻な放射能の影響やまたそれに伴う風評被害も継続しています。

我々はこうした経験を決して忘れることなく、未来に伝えていかなければなりません。原発は効率の良い電源ではありますが、放射性廃棄物を処理する方法もなく、一旦事故のある時は壊滅的な被害をもたらすということが認識されました。否応なく将来は再生可能エネルギーの時代へと転換していくことでしょう。既にドイツなどヨーロッパ諸国では大きくこの方向へ舵を切り、中国やアメリカ合衆国などでも再生可能エネルギーの開発を飛躍的に進めています。

しかし、再生可能エネルギーにもまだまだ課題は多く、とくに安定したエネルギー供給が見込めないことやコストなどの問題が指摘されています。太陽光発電においても夜間の発電が不可能なことから基幹エネルギーにはなり得ないといわれています。

我々同窓生は夢を若者たちに託します。この奨学金で学んだ若者たちが、理系であればやがてより発電効率の良い太陽光パネルを開発し、昼間発電した電気を十分に蓄えられる蓄電池を開発してくれることでしょう。また、文系であれば自然エネルギーを基盤にした社会をデザインしてくれるかもしれません。もちろん直接エネルギー問題に関わらなくとも構いません。人々の幸せのために貢献していこうという夢を持って学問に励んでくれることを期待します。

こうした趣旨で、長野高校同窓会は太陽光奨学金を創設しました。志をもちながらも、経済的困難を抱えている皆さんの一助になればと思います。

一般社団法人長野高等学校金鶏会



学びの改革の先達として

学校長 宮本 隆



本年度4月より長野高校に赴任いたしました宮本隆と申します。高31回卒ですので、40年振りに母校に関わることとなり、身の引き締まる思いです。よろしくお願いいたします。

本校は本年度120周年を迎えることとなり、同窓会の皆様方には多大なご支援を頂いていることにまずもって感謝申し上げます。特に生徒の学習環境の整備のためエアコン設置の事業を進めていただきありがとうございます。昨年の災害級の酷暑に対応するため、長野県でも高等学校へのエアコン設置を進めることになり、本校での120周年の記念事業との調整に事務局として大変ご苦心頂いていることに重ねて感謝申し上げます。

さて、文部科学省のSGH（スーパーグローバルハイスクール）の指定を平成26年度に受けた全国56校の1校として、5年間にわたるSGH指定が平成30年度末で終了いたしました。この間、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進め、長野県だけでなく全国の高等学校の先達として改革を進めてまいりました。SGHの指定は終了しますが、その間培われてきた学びを継承し、さらに発展させることは言うまでもありません。

さらに、この3月29日に、文部科学省から「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」の指定校の決定通知をいただきました。地域課題を解決するための実効性ある政策提言を行うことができる人材を目指し、長野県の掲げる「SDGs未来都市」計画を実現に導く

ことを通じて学びを構築していこうとするものです。

現在進行中の教育改革は、明治、戦後に次ぐ第3の教育改革とも呼ばれ、日本が右肩あがりの人口・経済の成長期から減少・成熟期に入ったことによる必然の改革です。大学入試でも改革が行われる中、新教育課程への対応、教員の働き方、部活動の改革が叫ばれ、さらに長野県では「高校改革～夢に挑戦する学び～」として高校現場の対応が求められています。

思い返せば我々高31回卒の高校時代は、大学入試改革により国公立が1期校・2期校から、共通一次試験として統一され、入試が1月へと早まり、それに合わせて金鷄祭を9月から7月に移して、生徒会任期も前期・後期の2期制から年度1年制へと大きく変えた時期でもありました。現在のような変革期に校長として赴任する意味として、何か縁や運命を感じるものであり、今後10年、20年先の長野高校の方向性を形作るのが、自分の使命かと思っている次第です。よろしくお願いいたします。

（株）ヤマトホールディングス取締役
会長 山内雅喜氏（高31回）から、
校長就任のお祝いのお花をいただきました。



母校近況

平成30年度金鷄賞 長野高校クラブ活動近況

平成30年度に顕著な活躍をした班・部活に同窓会より総額40万円の副賞を添えて金鷄賞を贈りました。

1. 金鷄優秀賞

- ・新聞部 6万円
〈全国高校新聞年間紙面審査賞〉
最優秀賞（2年連続）
- ・剣道班 6万円
〈北信越新人大会〉男子団体出場
（2年連続）
- ・吹奏楽班 6万円
〈東海吹奏楽コンクール〉銀賞

2. 金鷄優良賞

- ・ECC班 4万円
〈全国高校生英語ディベート大会〉出場
- ・羽球班 4万円
〈インターハイ〉出場
- ・水泳班 4万円
〈北信越大会〉出場
- ・ソフトテニス班 3万円
〈北信越大会〉出場



第24回長野県高校生英語キャンプ及び
プレゼンテーションコンテスト県大会（菅平）
○ビデオ部門 優勝
○パワーポイントプレゼンテーション部門 優勝

3. 金鷄奨励賞

- ・陸上班 1万円
〈県伝大会〉入賞
- ・放送部 1万円
〈全国総合文化祭〉出場
- ・文芸班 1万円
〈全国総合文化祭〉出場
- ・かるた班 1万円
〈全国総合文化祭〉出場
- ・自然科学同好会 1万円
〈全国総合文化祭〉出場

- ・合唱班 1万円
〈行事式典などへの貢献〉
- ・管弦楽班 1万円
〈行事式典などへの貢献〉

4. 金鷄特別賞

上記各班で活躍した個人25名のほか、冬季国体アイスホッケー競技出場8位になった1名、県美術コンクール優秀賞を受賞した1名の計27名に、記念品を添えて金鷄特別賞を贈りました。

● 水泳班

班長 3年 高橋勇貴

水泳班は新たに1年生8名を加え、選手・マネージャーを合わせて25名で活動をしています。昨年度まで女子の選手は2名しかいませんでしたが、今年度は1年生の女子選手が増え、数年ぶりに4人一組のリレーチームが作れそうです。

昨シーズンの水泳班は飛躍の年になりました。個人戦では男子10名が県大会に出場、そのうち3種目(自由形50m・100m 中村匠、1500m 西澤俊輔)で北信越大会進出を果たしました。また、フリーリレー、メドレーリレーの両チームとも県大会にコマを進め、メドレーリレーは北信越大会の代表権を手にすることができました。

今シーズンは、男女共に個人戦、リレーで北信越大会出場を目標に活動しています。班員間での泳力差はありますが、それを考慮しながらいかに効率よく集中して練習に励めるかを日々模索しています。

同窓会並びにOB、OGの方々にはいつも温かいご支援をいただき、班員一同感謝しております。昨年度、

同窓会よりいただいた金鷄優良賞の賞金では大会で使用するテントを新調し、古くなったタイマーも買い替えるなど快適な環境で身を新たに練習することができます。

応援してくださる周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからもひとかきひとけり最後まで泳ぎきっていく所存です。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



● フィリピンでの医療ボランティアに参加して

3年 池田いずみ 佐々木彩香 佐々木啓人 下倉春乃

貧困のためたった1本の歯ブラシさえ買えず、幼くして4本の前歯を失った「アルソン君」との出会いから、



現地では非常に高価な歯ブラシを日本で集めて送り届ける「ハローアルソン！」(通称：ハロアル)という活動がはじまりました。

フィリピン医療を支える会ハローアルソンでは、貧困のため学校に通えず、病院にも行くことができず、今日食べることに困窮している子供たちのために、生活物資の支援、そして、歯科医療を中心とした医療支援を行っています。

今年度長野高校からは4人の生徒がハローアルソンというボランティア活動に参加しました。私たち高校生は物資回収や歯科医師の治療の手伝い、子供たちの

髪を洗うなどをしました。

実際に現地に行き、自らが活動することで初めて分かること、感じるものがたくさんありました。日本で多くの人に協力していただいて集めた沢山の物資を日本から持っていったのにもかかわらず、スラム街に持っていくと1人に渡せる物資の量の少なさ、渡せない人

もいたことへの悔しさを感じました。

今回物資を渡すことができたスラム街の方は約2,700人です。長野高校では、金鷄祭などでハロアルの支援物資を集めています。もっと多くのスラム街の人々に支援物資を届けられるよう、支援物資回収へのご協力よろしくお願いします。

● SGHからNGPへ

日頃よりの長野高校の教育活動へのご支援に感謝申し上げます。

さて、2014年度より始まった文科省指定のスーパーグローバルハイスクール事業(SGH)は、平成30年度3月末を持ちまして終了いたしました。世の中が急速に変化する中、この事業を通して、長野高校も変化へ対応する教育プログラムを開発・実施しております。台湾研修・米国リーダー研修などの海外研修、地域へのフィールドワーク、ICTを活用した授業など、他校に先駆けた実践は、全国的にも高い評価をいただいております。

そして今年度からは、新たに「地域との協働による教育改革推進事業(グローバル型)」として、文部科学省から指定を受けました。これは全国で20校のみで、これまでのSGH事業での実践を高く評価していただいた結果であります。事業の名前が長いこともあり、長野高

グローバル教育推進室主任 小宮山 潤

校では、この4月から「長野グローバルプロジェクト(NGP)」としてスタートを切りました。グローバルな視点でローカルな問題を捉える「グローバル」というコンセプトに基づき、様々な体験を伴う学びを在校生徒に提供することで、長野高校の教育をより良いものにできればと考えております。

なおSGH活動では、学校内での授業に加えて、学校外とも協働して学べる場づくりができるように環境整備に努めて参りました。これについても、大学との協定締結にご尽力いただいた方々や米国研修で交流機会の提供を申し出てくださった方など様々な方々のご協力があってのことです。長野高校の時代の変化に対応した教育活動に対して、ご理解とご支援を頂いた皆様方に改めて感謝申し上げますとともに、120周年を迎える今年度もよろしくお願いいたします。



ミルバーンハイスクール高校での交流会

平成30年度 長野高等学校教育設備改善のための委員会 会計報告

収入		(単位：円)
科目	決算額	
募金	23,660	
雑収入	30	
前年度繰越金	4,563,089	
合計	4,586,779	

支出		(単位：円)
科目	決算額	
ICT環境整備 PCリース代、電子黒板、PC修理代	1,703,700	

科目	決算額
フレッツ利用料	89,424
善光寺グローバルサミット 宿泊費・食費、光熱費、保険料	293,949
フィールドワーク交通費補助	241,470
生徒派遣費	123,250
雑費 振込手数料等	1,944
支出計	2,453,737
次期繰越金	2,133,042
合計	4,586,779

支部・同期会・OB会だより

東京長高金鷄会



東京長高金鷄会

東京長高金鷄会は、昨年12月9日(日)にコートヤード・マリオット銀座東武ホテルで講演会と総会・懇親会を開催しました。

講演会では3名の方にお話しいただきました。まず、体験型脱出ゲームを運営する「インバイトジャパン」代表の山田敦子さん(高43回)から、「長高卒姉妹の起業に見る長高経験とアントレプレナーシップ」と題してお話しいただきました。山田さんの会社が浅草で営業する「脱出ゲーム」の施設は社員研修などで利用する企業から、「チームの結束力を高めるのに役立つ」と大盛況を博しているとのことでした。

続いて、元NHKロスアンゼルス支局長の花岡郁安さん(高12回)から「びっくりした米国経済の強大さ：LAオリンピック放送権交渉の裏話」と題してお話しいただきました。

た。1984年のロサンゼルスオリンピック大会はスポンサー収入と放送権収入だけで運営され、興行的にも成功した大会でしたが、当時放送権交渉に携わられた花岡さんから臨場感あふれるご苦労話を伺うことができました。

メインの講演は、順天堂大学医学部脳神経内科教授の服部信孝さん(高30回)から、「百年人生に向けて：パーキンソン病を解剖するー知る・診る・治す」と題してお話しいただきました。服部さんは、パーキンソン病の日本における第一人者で東京都難病相談支援センター長も務めています。当日は、これまでの研究をご紹介いただきつつ、最新事情を含めてパーキンソン病治療の最前線に関するお話をいただきました。健康関係の話題には出席者の皆さんの興味も大きく、活発な質疑応答が行われました。

続いて行われた総会では、席上、高校創立120周年記念事業への寄付を満場一致で議決し、来賓の金鷄会副会長の小林邦一様にお渡しいたしました。その後、予算と決算、活動報告の審議を行いました。

懇親会は、ご来賓の学校長・原良通氏、金鷄会副会長・小林邦一氏、同事務局長・桃林聖一氏のご臨席のもとに開催され、参加者100名ころゆくまで歓談いたしました。最後は恒例の「信濃の国」を皆で心を合わせて歌い、散会いたしました。ご来賓の皆様には、遠路お越しいただき、また、ご挨拶を賜り、誠にありがとうございました。

なお、服部さんは、平成31年4月1日付で順天堂大学医学部長に就任されました。(高30回 小池良一)

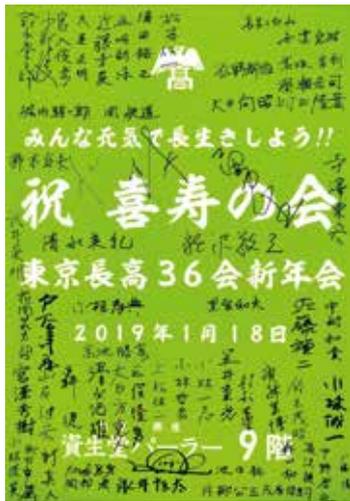
高13回 東京長高36会・喜寿祝の会

厳しい冬の寒さにも、わずかに春の気配が感じられる



高13回

1月18日(金)12時、東京銀座の資生堂パーラーには、長野、関西からの参加者も含め総勢58名の金鷄健児が集まった。受付で用意した「祝・喜寿の会 みんな元気で長生きしよう!!」のパネルに全員にサインしてもらった。恒例の東京36回は回を重ねてすでに30回超。これまでの卒業年次のなかでもこれは極めて稀有なことではないだろうか。昭和36年卒の仲間の結束はいかに強いことか!!



今回の担当幹事である3年3組。宮入俊彦幹事長の「今年はほとんどの方が喜寿を迎えることになる。ここまで元気で来られたことに感謝しつつ、みんなで元気で長生きしよう…」の挨拶でスタート。大屋正明幹事の発声で乾杯した。

今回は講演などは一切なし。銀座通りを見下ろしながらゆっくりとした懇親会に徹した。家族のこと、趣味のこと、健康のことなど来し方行く末に花が咲いた。クラスごとの挨拶に続き、長野代表の花岡荘太郎、関西代表の高坂昌利両君が近況を報告した。2時間に及んだ会は14時に五明則保君の指揮で校歌斉唱、小林清英幹事の発声で中締め。続いて同じ会場で開いた二次会には、ほとんどの方が参加し、改めて旧交を温めた。

われらの母校は今年、明治32年の創立から数えて120周年の節目に当たるとのこと。今後ますますの発展を祈るや切である。
(3組幹事 鈴木奎三郎)

松本金鷄会

「第9回松本金鷄会」が平成31年2月12日(火)松本市の梅風閣にて、28名の同窓の皆さんが集まり開催されました。

毎回目新鐘にて本会の様子をお伝えしてまいりましたが、いよいよその本会も次回で10回を数えることとなります。長野市を離れ松本を取り巻く地域を本拠とされた皆さん、職場の異動などで松本周辺にご縁が生じていらっしゃる皆さん、そしてそのご親戚やご友人、それぞれの境遇を有しつつ、ここで出会いを創れてきたのが松本金鷄会であります。また幅広い年代が一堂に会する場として定着してきており、貴重な機会となってきたと思っております。その出会いは、あるところではビジネス、あるところでは健康改善、あるところでは息子の就職相談など様々な方向に発展しているようです。

会長の新保力さん(高11回・株市民タイムズ代表取締役社長)、副会長の池田紀夫さん(高11回・株日本広告代表取締役社長)、藤澤繁雄さん(高11回・株五千尺代表取締役会長)の鉄のトライアングルに支えられてまいりましたが、令和の時代となり、極めて残念ではありますが、三役を次の世代に繋いでいく時期を迎えております。三役の皆さん、本当にありがとうございました。そのようなことから、第10回は盛大に行いたいと考えております。

第10回は7月23日(火)19時より会費5,000円にてパルコ内のファイブホルンにて開催いたします。この記事をお読みになられた皆さま、一緒に集って大いに「山また山」を歌いましょう(事務局:金子智雄 TEL 0263(33)1580 株長栄)。なお、当日は本校創立120周年の募金のお志もいただければと思っております。本校を愛する皆さん、ぜひよろしくお願いたします。
(高31回 金子智雄)



長野高校吹奏楽班OB・OG第50回記念定期演奏会

2019年3月30日(土) 現役生とのジョイントコンサート 赤松市文化ホール大ホール



長野高校吹奏楽班OB・OG会

長野高校吹奏楽班OB・OG会

第50回記念定期演奏会開催

去る3月30日(土)、長野高校吹奏楽班OB・OG(以下、OB)会は第50回記念定期演奏会をホクト文化ホール大ホールで開催いたしました。

演奏会は例年通り3部構成で、第1部はOBのみの演奏、第2部は現役生みの演奏、そして最後の第3部は現役生とOBとのジョイントステージという構成で行われました。指揮は歴代顧問の先生方、OBで作曲家の方など合わせて7名にお願いし、クラシックで有名な曲が多く演奏されました。幅広い年代のOBが150名ほど出演し、現役生と合わせると160名以上の迫力ある演奏となりました。また、雨天にもかかわらず多くのお客様にお越しいただき、盛大に終えることができました。

演奏会のあとは、ホテルメルパルク長野にて記念式典を開催しました。OB定期演奏会で50年間ご指導くださった山本昇先生に感謝状と盾を贈呈し、これまでの感謝の気持ちを表しました。また、指揮者の先生方や歴代OBの皆様からもお話をいただき、このOB会の歴史などを知ることができました。式典には180名を超えるOBの方にお越しいただき、盛況のうちに終えることができました。

このように1年に一度OBが集まって、当時の先生のもとで演奏できるという半世紀続いてきた貴重な伝統をこれからも大切にしていけるとともに、現役生の支援をより多くしていけるよう、さらにこのOB会を盛り上げていきたいと思ひます。

〈お知らせ〉定期演奏会の様子は公式サイトでご覧いただけます。⇒<https://nhb-obog.net>

(長野高校吹奏楽班OB・OG会)



長野高校吹奏楽班OB・OG会

高27回 吟行

*
～俳諧寺 小林一茶を輩出した北信濃で吟行を計画～



真田町信綱寺にて

平成から令和に変わる最後の日曜日4月28日に菅平一泊で高27回の同窓生による吟行を、成功裏に終えることができた。

発端は2年前の秋に遡る。早世した才媛太田順子さんの10周年忌に俳句を作って持ちよったことによる。太田さんと才媛の双壁だった繁田美香さんが「面白い吟行やろう!!」と提案。それに

かの西校の校長を務め、今当校で教鞭を執る上原睦徳君が呼応。私が幹事をもって出て吟行が実現した。

当日は前夜の悪天が嘘のような絶好の行楽日和、日ごころの行いの良さが証明された。旅程は上田駅前集合で、上田、小諸界隈を逍遥。メインの懐古園の展望台では稀な気象である水平の虹が出現!! 天国から同窓生が参加してくれた気がしたのだった。それを見たお茶の水女子大学の学部長を務めた宮尾正樹君が「9時15分!」と言ったのが面白かった。夜、飲食後に句の批評をした。

途中参加を含めて11名(全員27回生)。吟行とは言うもののスケッチをする者、ずっと酒を飲んでしゃべって

る者、ゆる～い会だった。余談だが小相澤政和君の博識には畏れ入った。とても楽しく、「是非またやろう」という話になった。素人集団で、句も良いんだか悪いんだかまいち評価の基準に自信が持てない状況だった(私だけ?)が頭の体操になった。また旧交を温めることができてやって良かったと思えた2日間だった。来年も計画する予定なので興味のある方はぜひ連絡をください。

(荻原 実)

*俳諧寺とは小林一茶をさす(広辞苑)

高9回 東京北ラス会

我々の東京北ラス会(高9回)は、5月1日より令和元年となりました記念すべき年のスタートと期を一にするように5月7日(火)、東京大手町の「KKRホテル東京」の11階で開催されました。首都圏在住者のほか「長野北ラス会」より、藤島淑男氏、清水栄氏ほか9名、小川重雄氏(新潟)、他近県の在住者を含めて合計53名の出席者を得て、ウエルカムドリンクからなごやかに始まり、寺澤が司会を務めました。

幹事グループは、高野千里代表幹事以下、白田忠、寺澤克徳、鳥谷越健二、野村紘一、宮沢敏夫氏で、常任幹事として、才口千晴氏、小粥節子氏、下平浩氏の他、年度ごとに幹事グループが結成され、毎年5月の連休明けに行うことをルール化して開催されています。

今回も長野北ラス会の藤島淑男氏より、母校の近況を自らまとめた資料で説明していただき、我々の卒業当時の状況からの変遷に注目が集まりました。その他、清水栄氏からも近況の報告のほか、中村真希男氏のエレキギターの演奏などがあり、最後に白田忠氏のリードで校歌を斉唱し、集合写真を撮って定例会は終わりました。二次会として同ホテルの12階にて、20名ほどが飲み物、つまみをとりながら延長定例会を楽しむことができました。

(文 寺澤克徳、写真 下平 浩)



高9回 東京北ラス会

市民大学事業のご案内

古代史講座

主催：科学研究費補助金(基盤研究(S))「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と
日本目録学の進展—知の体系の構造伝来の解明」研究プロジェクト
協力：一般社団法人長野教育文化振興会

於 金鶏会館大講義室

続・古典を読む—歴史と文学—「いま明かされる古代」シリーズ42&中世

第1回 5月18日(土)

東京大学 史料編纂所 古文書古記録部門 兼 古代史料部門
教授 田島 公 先生
「改元定と延喜・天曆の治(聖代)」
—継承される延喜・天曆の「聖代」観と古典文化—

第3回 6月15日(土)

早稲田大学 文学学術院 文学部 美術史コース
教授 山本 聡美 先生
「平安絵巻の光と闇」—源氏物語絵巻と地獄草紙—

第5回 7月13日(土)

早稲田大学名誉教授 海老澤 衷 先生
「荘とVilla」—東大寺とサン・ジェルマン・デ・プレ修道院—

第2回 6月1日(土)

京都大学名誉教授 西山 良平 先生
「平安後期の京都と開発・再開発」
—JR京都駅・岡崎・三十三間堂・嵐山—

第4回 6月29日(土)

東京大学名誉教授・文化庁文化審議会委員 藤井 恵介 先生
「礼堂誕生」—平安初期の仏堂の変革と仏教の変質—

今年度の古代史講座第2期は、8月末より開講予定です。
聴講ご希望の方は、同窓会事務局までお問い合わせください。

紫綬褒章を受章

齊藤和季氏(高25回、現在、千葉大学大学院薬学研究
院・教授、理化学研究所環境資源科学研究センター・副
センター長)が、天然資源系薬学・植物分子科学におけ
る優れた研究功績が評価され、平成30年秋の紫綬褒章を
受章されました。

齊藤氏は、薬学および植物科学の分野において、植物
が生産する多様な化学成分の生合成や制御機構を解明す
る研究を行い、「植物はなぜ薬を作るのか」(同名の文春

新書を2017年に出版)という基礎的な疑問に対する答え
を次々に明らかにしてきました。特に、世界に先駆けて
メタボロミクスを中心とした統合オミクス研究を推進
し、ファイトケミカルゲノミクスという新しい研究領域
を開拓したことが高く評価されました。これらの業績は
多くの論文被引用件数という客観的な指標によって国際
的に高く評価されています。

令和元年度同窓会費(3,000円)の ご送金をお願いいたします。

口座振替の方は6月27日(木)に引き落としとなります。
本年度は高9回までの会員の方々が会費免除になります。

送金方法

■同封の振込用紙でのお振り込み

コンビニ・郵便局でお振り込みください

■銀行へのお振り込みは下記の口座へお願いいたします

●八十二銀行 長野北支店
普通 133722
一般社団法人長野高等学校金鶏会

●長野信用金庫 城北支店
普通 0031958
一般社団法人長野高等学校金鶏会

池田満寿夫ギャラリー

金鶏会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余
り、常設展示しております。
ぜひ、ご覧にお越しください。
(平日14時~17時、それ以外の時間は予めご連絡く
ださい。)



回期別対抗ゴルフコンペのご案内

期 日 令和元年9月29日(日)
場 所 長野カントリークラブ TEL 026-239-3100
費 用 プレー代 13,050円(食事付き)

※優待券は使えません

参加費 3,000円

競技方法 新ペリア方式

☆団体戦：各回期上位3名までの団体合計成
績順位

☆個人戦：個人別成績順位

申込方法 はがき又はFAXで同窓会事務局へ各回期3名
以上の連記(2組以上も可)でお申し込みくだ
さい。

締切り日 9月14日(土) *25組で締切ります

※各組のスタート時刻、その他詳細については9月21日
頃、参加者にご連絡いたします。

結 婚 相 談

ご希望の方は申し込み用紙を電話またははがきでご請求ください。

年齢、性別、学歴等は問いません。

TEL.026-235-3822 長野市上松1-16-12長野高等学校同窓会 結婚相談室

寄贈図書



医療・福祉の総合情報誌
JAPAN MEDICAL SOCIETY
2019年1月号～5月号
野村元久氏(高10回)寄贈



西方見聞録
西ドイツ一周研究旅行・全記録
1964.2.24.-10.9.
著者 瀧沢敬三氏(高13回)



事故車は語る
著者 川上 明氏(高16回)



RikaTan 理科の探検
2018年2月号～2019年4月号
夏目雄平氏(高17回)寄贈



象山神社 創建80周年記念誌
酒井春人氏(高20回)寄贈



心と体を支える医療
南城つはこクリニック 10周年記念誌
小山信二氏(高22回)寄贈



麻酔実践の論理Ⅱ
麻酔の安全性を初歩から考える
著者 田中秀司氏(高22回)



ひいばあちゃんは中国にお墓をつくった
中国残留日本人の孫たちと学ぶ満州・戦争
著者 飯島春光氏(高23回)



相談支援の実践力
これからの障害者福祉を担うあなたへ
著者 福岡 寿氏(高28回)



陽明文庫 近衛家伝来の至宝
設立80周年記念特別研究集会 記念図録
編者 田島 公氏(高29回)



長野高校生物班OB会誌
うばたまむし11号 2018年・DVD版11号
生物班OB会 寄贈



鐘の音は永遠に流れる
日本の近代音楽創世と草川音楽三兄弟
著者 近藤正義氏

令和元年度 同窓会総会のご案内

期 日	令和元年6月22日(土)
会 場	ホテル国際21
総 会	午後2時～ 藤の間
講演会	午後3時～ 藤の間
演題	「観光の潮流とグローバルNAGANO」
講師	亜細亜大学 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 准教授 久保田 美穂子氏(高36回)
懇親会	午後4時30分～ 芙蓉の間
会 費	5,000円 当日受付でございます。

*出席される方は事務局へお知らせください。
*今年度の当番は、高36回・高48回・高60回の方々です。

訃報 市川 浩一郎 さん(高11回)

一般社団法人長野高等学校金鷄会副会長を長年にわたり務めていただいております市川浩一郎さんが平成31年4月30日にお亡くなりになりました。市川さんは誠実なお人柄で信頼が厚く、不二越機械工業の経営に携わる傍ら長野県経営者協会の副会長など多方面にわたって活躍され、創立120周年記念事業においては実行委員会副会長・募金委員長を務めていただいております。同窓会での生前の御尽力に感謝申し上げますとともに心からご冥福をお祈り申し上げます。

同期会開催のご案内

- ◇高21回卒業50周年記念同窓会 10月12日(土) 午後4時
ホテルメトロポリタン長野
- ◇高31回卒業40周年記念同窓会
9月21日(土) 第1部 午後3時30分 学校見学会(長野高校)
第2部 午後5時30分 懇親会(ホテルメトロポリタン長野)
- ◇高51回卒業20周年記念同窓会 8月10日(土) 午後5時
ホテルメトロポリタン長野



○会費納入の際の振り込み手数料は同窓会事務局負担となっております。郵便局の手数料が大幅に値上げされております(窓口130円→200円、ATM80円→150円)ので、できましたらコンビニを利用いただけるとありがたいです。
○今年の金鷄祭は7月6日(土)・7日(日)が公開日です。金鷄会館では池田満寿夫ギャラリー・長野高校の歴史資料室を公開しますので、見学にお越しください。